

2017年 **12**月 つるがしま里山サポートクラブ活動案内

平成 29 年 11 月 25 日(土)

小澤邦彦

わがクラブのユニフォームができました。コートとジャケットの2種類あります。森の清掃活動での対外アピールや認知用として、また、クラブ主催の各種イベントでのスタッフ着として活用します。



12月 は門松つくりの準備と門松教室を開催します。今年の締めくくりとしてたくさんの会員の参加をお願いします。

◇ 12月のクラブ実施内容は以下のとおりです。

◎ 五味ヶ谷の森整備

☆ 活動日時 : 12月9日(土) 9時00分～15時

☆ 参加目的・意義

恒例のトン汁による昼食会兼忘年会を開催します。また、23日(土)および24日(日)に実施する門松教室に使用する材料を準備します。

☆ 当クラブの具体的実施事項・内容

● とん汁準備

● 23日(土)および坂戸の24日(日)の門松教室ではミニ門松(中型)を作るので、竹の斜め切りを制作し森内に保管する。

23日(土) = 募集40組に里山・杉下支え合い会員を含め: 60組×6本=360本

24日(日) = 予備を含め: 50組×6本=300本

合計本数 660本

※ 坂戸より数名が手伝いに来ます。

☆ 集合場所 : 東市民センター裏の五味ヶ谷市民の森内広場

☆ 駐車場所 : 東市民センター駐車場

☆ 昼食 : おにぎり+コーヒーを用意します。

☆ 総括責任者 : 佐野英

◎ 門松教室 (IN 鶴ヶ島)

☆ 活動日時 : 12月23日(土) 8時30分～13時

☆ 参加目的・意義

竹は昔より生活の道具として様々なものに利用してきましたが、現在では身近なものとして触れ合うことが少なくなっています。親子で協力して門松を作り上げることを通じて、手作りの楽しさや身近にある貴重な地域の自然の良さを再確認してもらいます。

- ☆ 主催 : 当クラブ (夢基金助成事業)
- ☆ 後援 : 鶴ヶ島市教育委員会
- ☆ 協力団体 : 東市民センター・杉下地域支え合い協議会・広域おやこ劇場ひき北いるま
- ☆ 参加者数 (予定) : こども 35 人、大人 35 人
- ☆ 当クラブの具体的実施事項・内容
 - 松、南天、梅枝、麻布、シュロ・荒縄等の準備
 - ※ 荒縄の男結びの要請があります。(これが結構難しい。)
 - <https://www.youtube.com/watch?v=wTVuywUpDBs>
 - 竹、ミニ門松のつくり方の説明
 - 門松制作の補助
 - 竹林見学
 - 当クラブ会員用の門松制作も実施できます。
- ☆ 集合場所 : 東市民センター1F (制作場所: ホール)
- ☆ 駐車場所 : 東市民センター駐車場
- ☆ 昼食 : おにぎり+コーヒーを用意します。
- ☆ 総括責任者 : 吉井

※ 12月24日(日): 昨年に引き続き坂戸のNPO法人一二三富の会主催の門松教室に協力団体として数名参加します。

ちくいん めぐ たいけん 竹林の恵み体験

かぞく たの かどまつきょうしつ 家族で楽しむ門松教室



2017年12月23日(土)
 9時00分～12時30分
 鶴ヶ島市東市民センター
 五味ヶ谷市民の森 [第5号市民の森]

[タイムスケジュール]
 9:00 受付開始
 9:30 竹について知ろう
 9:40 門松を作ろう 前半
 11:00 竹林に行ってみよう
 11:30 門松を作ろう 後半
 12:15 みんなの門松を見よう
 12:30 解散



竹について知る

[募集] 門松40組まで
 保護者の方もご一緒にどうぞ。
 ・子ども35名くらい
 (5才～小学6年生)
 ・おとな35名くらい



材料選び

[参加費]
 門松1組につき500円
 (1家族2組まで)

[指導者名]
 ◆NPO 法人つるがしま
 里山サポートクラブ
 佐野英樹 小沼英二
 牛島哲雄 吉井優
 高橋要 柏木美之
 ◆杉下地域支え合い協議会
 眞保健一 伊藤邦夫
 風祭みさ子
 ◆広域おやこ劇場ひき北いるま
 田中美智子 小久保恵子
 吉富菜穂子 (ほか)



竹を切る

[お申込み] 12月4日(月)より受付開始
 下記①～⑥をお電話またはメールにて
 ご連絡ください。(先着順)
 ①門松参加
 ②参加者全員のお名前(ふりがな)
 [年齢/学年 または 大人]
 ③代表者のお名前
 ④作る門松の数 [1組 または 2組]
 ⑤ご住所 ⑥お電話番号

[主催・申込み・問合せ先]
 NPO 法人つるがしま
 里山サポートクラブ
<http://satoyamasupport.com>
 Mail youyoshii@dream.com
 Tel 080-3588-7868 (吉井)



組み立てる

[もちもの] 水筒・軍手・運動靴
 門松持ち帰り用の大きな袋

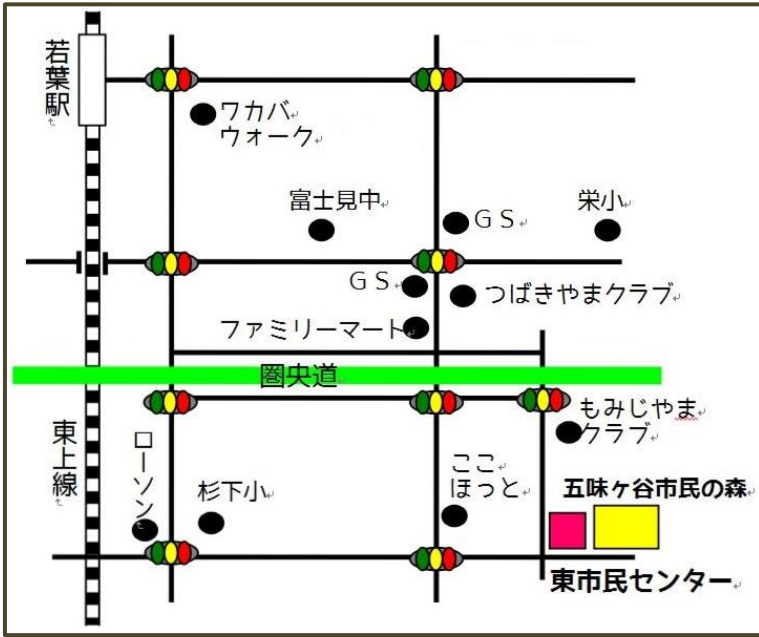
[協力] 鶴ヶ島市東市民センター
 杉下地域支え合い協議会
 広域おやこ劇場ひき北いるま

[後援] 鶴ヶ島市教育委員会
 イラスト…小久保恵子 チラシデザイン…木部文子



[会場地図]

駐車場・駐輪場は、東市民センターをご利用下さい。



保護者のかたへ

私たちが維持管理している五味ヶ谷市民の森には、30アールの竹林が存在します。この竹林景観を維持するため、竹の管理伐採を行っています。

この作業で発生する竹材を有効利用する目的で、年間各種竹細工の取り組みを行っています。

冬季にはこれを使って門松教室を開催し、好評を得ています。地元の支え合い協議会と共同して、家族単位で参加してくれた子どもたちと門松を作ることにより、家族の絆を深めることができます。毎回参加する子どもは、祖父母さん宅の分まで門松を作り、褒められると喜んでいきます。



[門松のことを知ろう]

◆門松の意味

門に飾ります。年神様は門松を目印にやってきます。

<松> 年中みずみずしい常緑で、神の宿る木と

されています。

<竹> 2～3日で背たけほども伸びるので、生命力を象徴しています。

<梅> 新春に咲き1年の始まりを意味します。

おめでたい紅梅と白梅をかざります。

◆いつかざるの？

29日は「二重苦」「苦立て」「苦松(=苦が待つ)」に通じ、31日は葬儀と同じ「一夜かざり」で縁起が悪いことや、年神様をおむかえするのに一夜限りでは失礼になります。

26日～28日または30日にかざりましょう。

[キッズgoo こども歳時記 より]